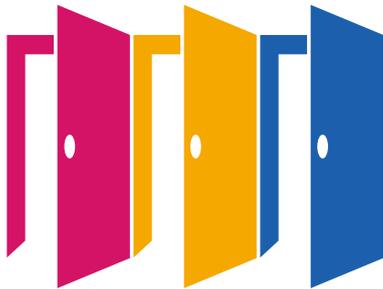


Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦

創立 1986年



第1655回例会

令和3年2月4日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代) ●奉仕の理想

○ビジター

- 県南分区ガバナー補佐 遠藤武士様

○スマイルBOX

●矢吹RC 遠藤武士様 (令和3年においてもよろしく申し上げます。IMを5月に開催します。御出席をお願いします。)

●吉野敬之会長 (金田次年度ガバナー補佐卓話有難うございました。次年度は運営の方大変でしょうが、頑張っていきたいと存じます。今日は先週分と合わせてスマイルさせていただきました。)

●堀田一彦幹事 (金田さん卓話ありがとうございます。次年度は県南分区ガバナー補佐として頑張ってください。)

●金田昇会員 (遠藤ガバナー補佐様ようこそ。今日は卓話をさせていただきました。)

●須藤正樹会員 (お久しぶりです。先月の誕生日お祝いありがとうございます。)

●永野文雄会員 (ゲストの遠藤ガバナー補佐ご苦労様です。金田次年度ガバナー補佐卓話ありがとうございます。)

●運天直人会員 (ゲストの遠藤様ようこそ西クラブへ。金田パスト会長卓話ありがとうございます。先日今年初のパーティーを取りましたのでスマイル致します。)

●佐藤清作会員 (金田昇さんの次年度ガバナー補佐でのご活躍が楽しみです。今回は卓話ご苦労様でした。遠藤ガバナー補佐様ようこそ。誕生日お祝いありがとうございます。)

●青木大会員 (誕生日のお祝いありがとうございます。ゴルフ2プレーで2パーティーしました。吉野会長、堀田幹事、運天SAA、ありがとうございます。)

●鈴木典雄会員 (結婚記念品、楽しみに待っています。)

▶第1655回例会出席状況 (R3年2月4日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	47名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	61名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	37名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	57
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	64.91%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆様、こんにちは。本日も、例会に参加いただきましてありがとうございます。また、本日はオンラインのほうで4名程だと思っておりますが、ご参加いただきましてありがとうございます。まずお客様をご紹介したいと思います。分区分ガバナー補佐でございます、遠藤武士様でございます。遠藤ガバナー補佐は前にもご紹介したと思うのですが、ガバナーのほうから年間5回は各クラブに顔を出すようにと非常に厳しいノルマを与えられておまして、大変だとは思いますがいつも顔を合わせられるほうが私たちも嬉しいなと思っておりますので、今日はゆっくり例会のほう楽しんでいただければというふうに思います。先週の例会ではオンラインの環境整備に不備がございまして、参加していただいた皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。また、発表していただいた方にも、せっかく資料を作っていただいたにも関わらずご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。その反省を今回は生かしまして、本日はテストにテストを重ね、鈴木典雄君は徹夜を続け今日の例会に臨んでいるはずでございます。万全の状態での今日の例会はお送りする予定でございますので、もし何か不備がありましたら私じゃなくて今度は鈴木典雄君を責めてください。先日、緊急事態宣言が3月7日までを目途に延長されるという決定がなされたわけですが、福島県では緊急対策期間というふうに呼ぶらしいですが、この期間に関しましては今、県のホームページを見ますと内堀知事のほうの様子を見ながら7日ということだと思っておりますが、その期限ぎりぎりまで検討してどうするかを決定したいというようなお話だそうでございます。先日、根本あゆみ会員のほうからフェイスブックのほうに出てたんですが、本当にぎりぎりまで待ちたい気持ちもわかるけど、待たされる方もまだ延長されるのかそれとも解除になるのかで仕事の段取りが全然違ってくるというようなことをフェイスブックで書かれておりましたが、まさにその通りだなど。非常に決定する側の気持ちもわかるし、受け手の気持ちもわかるし、本当にいろいろな意味で大変な時代だなどということを感じておりました。これらに関連しましては、当クラブの式典懇親会の開催にも影響は大きく及ぼすわけでございます。こちらに関しましても、今だ流動的で県と同じように判断はぎりぎりまで待つというふうにせざるを得ないというのは非常に大変な状況なんです。さらに皆さん報道でご存じかと思うんですが、ミャンマーにおきまして国軍によりますクーデターが発生いたしまして、当然当クラブで進めておりますランドセルを送りましょうという事業に関しまして、ミャンマーのほうがか正式とか正確ではないかもしれないんですが、一年間程は入出国に関しましては厳しく制限がなされるというような事とか、今、戒厳令ということで通信等も制限がされておまして、結局今どういう状況か、国外ましてや私達は把握できないというような状況が続いておまして、

非常にランドセルを贈ろう事業が若干といいますが、暗雲が漂っている状況でございます。「神様は乗り越えられる試練しか与えない」というような言葉を聞いたことは皆さんもあるかと思うんですが、今、正直な気持ちといたしましては、本当かよというような気持ちでございます。1月の講演会の中止に始まりまして、今回またランドセルと。この先、式典、懇親会、どうなるんだと。非常に試練ばかりで、神様の仰っていること本当かよというふうに思いついて、ちょっとこの言葉を調べてみました。そうしましたら、これ翻訳でよくあるらしいんですが、原本ではこの試練ということは「Temptation」というふうな言葉で表現してるそうです。これは正確には「試み」とか「誘惑」と訳すのが正しいそうなんですが、当時訳した方が「試練」、「辛いこと」というふうに聖書を訳したそうございまして、結果、聖書には「神様は乗り越えられる試練しか与えない」というような言葉になってしまったそうです。本来の意味は、「神様はあなたを耐えられない誘惑にさらすことはない。罪は様々な手段で誘ってくるが、神様は逃れる道を用意してくださっている」と捉えるのが正しい翻訳だそうです。これは、飲みに行きたいなという気持ちを抑えることは自分でできる方法はいっぱいあるでしょうということで、決して乗り越えられない試練を与えませんよという意味ではないというふうなことございまして。私の好きな言葉の一つに、「人事を尽くして天命を待つ」という言葉がございまして、今がまさにその時じゃないかなと思っております。外的要因というものは自分ではいかんともしがたいものが多数ございまして。先の心配をしすぎてもしょうがないし、今、自分たちに出来ることを出来る限り行って、結果は天運に任せるというふうに思わざるを得ない。そんな心境でございますし、それは正しいことではないかというふうに思っております。今まで、またこれから積み重ねていくものというのは、いつか結果に必ず結びつくだろうと信じて、皆さんと奉仕を重ねていきたいというふうに考えております。本日のプログラムは、金田次年度ガバナー補佐の卓話となっております。現在の状況が続く中、次年度の運営ももしかすると困難な船出となるやもしれません。ですが、金田次年度ガバナー補佐の熱意と能力をもってすれば、素晴らしい運営が行われるものと信じております。私はきっと信じておりますので、本日はその思いを卓話でお話しただけということで、非常に楽しみにしております。是非、よろしく願いいたしますということで、以上で会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 一般社団法人ロータリーの友事務所：2月友事務所運営について
- IT委員会メーリングリスト：国際ロータリー推奨バーチャル背景を地区サイトにアップしました
- 公財)ロータリー日本財団 理事長 千玄室：確定申告用寄付金領収証についてのお願い
- 国際ロータリー日本事務局 事務局長 小林宏明：国際ロータリー日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ

- 国際ロータリー第2530地区ガバナーエレクト 志賀利彦、次期地区幹事 蛭田修二：会長エレクト研修セミナー（PETS）開催のご案内
- 国際ロータリー第2530地区ガバナーエレクト事務所：地区チーム研修セミナーのご案内送付について
- 公益社団法人白河青年会議所 理事長 成井匠：新年会中止に伴う資料の送付等についてのご案内
- ガバナー事務所：地区大会問い合わせ
- 国際ロータリー日本事務局 業務推進・IT室：平和構築と紛争予防月間 リソースのご案内
- 国際ロータリー日本事務局財団室：財団室NEWS2021年2月号
- 社団法人ロータリーの友事務所 代表理事 鈴木宏：2021-22年度版ロータリー手帳お買い上げのお願い
- 白河南ロータリークラブ 会長 蓮沼一紀：白河南ロータリークラブ週報送付について
- 国際ロータリー日本事務局経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2021年2月RIレポートのお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナーエレクト芳賀利彦：2020-21年度RI会長のテーマについて
- 2020-21年度ガバナー事務所：奨学期間を終了する留学生・世話クラブ・カウンセラーの皆様へ
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー石黒秀司、職業奉仕委員会 委員長 初瀬照夫：中学生によるインターンシップ（職業体験事業）について

■ゲストのご挨拶

- 2020-21年度県南分区ガバナー補佐 遠藤武士様



どうも皆さん、度々お邪魔しちゃって申し訳ございません。今、会長より言われましたよね。今の郡山ロータリーから選出するガバナーさんは、大変熱意のある人なものですからもうできるだけ出るというような、挙句に今度は先月の終わりですか、ズームにおいて分区の8人が出席した折で今度は毎月ズーム会議をすると。体を皆さん大事にしてくれるばかりじゃなくて、顔合わせもしてくださいと。まあそういうことで、私としても郡山のほうに行く機会が少なくなったので、これは良かったなと思っております。ただ、体の代わりに頭だけ使えというようなことがガバナーの方から出てきましたので、これもちょっと困ってるなと思っております。私としては今日お邪魔しましたのは、皆様に前もってお願いしてた今日の14日、IMを予定するわけでしたんですけども、ご承知のように現今の社会情勢からみて少し伸ばした方がいいんじゃないかというようなことになりましたので、1か月程前に伸ばすと。その代わりに、中止じゃなくて5月にIMをする予定はしております。それで1月下旬のガバナー補佐会議の皆さんの8人の話をすると、一か所だけ中止。あとは皆さん、終わったところが二か所。そのほかは皆、延期でやるというふうな話が出ております。その中の一件を、そういう皆さんの話を聞いて、中止じゃなくてもう一回やろうかなというふうなガバナー補佐さんがおいでになりました。これもその地域の実情、皆さんの考え

によってなんでしょうけども、私としてはご承知のように一昨日ですか、福島県で二人、昨日は十何人ですか。大体下火になりつつあるなど、そういう感じはしております。ただ、皆さん年配の方もおいでになる。一番、昨日ですか一昨日ですか夜のBS見てましたら、やはり心配なのはコロナじゃなくて、死亡の一番はインフルエンザだと。その次は誤嚥性肺炎だと。これが一番心配だと。そして、その3番目に今のコロナだと。コロナは大体ご承知のように0.02パーセントですね。どうもマスコミが話しすると1割以上死んでるような話が多くとられますけども、やはりちょっとそこのところがマスコミにしてはオーバーにセンセーショナルな記事を並べたいが為に言ってるんだろーと思えますけども、私としても違和感の感じる数字が羅列されてると、そういうふうなことがありますね。今、会長さんが言われた天が与える試練は云々ということは話しましたが、今朝のソニーの収益が1兆円超したと。それで昨日の夜ですか、BSで見ましたらソニーの出井元社長が言ってることは、自分の時、今の進路を変えたんだと。そうすると、あの人が辞めてもう20年近くなりますね。20年過ぎて日本で5番目の大企業になったと、純益ですね。そういうふうな事を考えますと、試練はすぐ役に立つんじゃないで、そういう基本を持っていれば与えるのに対して人間は対応能力があるというようなことかなと感じを受けました。そういうことで、これからもやはり地域の指導者の皆さん方と一緒にまた進んでいきたいなと思っております。今年も一年、よろしくお祈りいたします。

■ポール・ハリス・フェローのバッチの授与式

- 佐藤清作会員



- 米山記念奨学会カウンセラー

阿部克弘会員



皆さん、こんにちは。米山記念奨学会カウンセラーの阿部克弘です。現在、米山記念奨学生のチョウさんの状況を報告したいと思っております。まずは1月30日土曜日、2020-21年度地区米山記念奨学会のズーム修了式が開催されまして、チョウさんと私がズームで参加をいたしました。式の中でチョウさんと私カウンセラーの阿部が一言発言をする機会がありましたので、内容については私のフェイスブック、インスタグラム、ラインのほうで動画をアップしておりますのでご覧いただければと思います。また、チョウさんも就活、昨年末から行っておりましたが、希望の千葉県ではなかったんですが企業のほうが決まりました。就職内定企業さんは東京にあります「株式会社レソリユーション」本社、これは自動車

の整備士の人材派遣会社ということです。主に外国人専門で、アフターフォローのノウハウが優れていると聞いておりますので心配はないかと思えます。派遣企業のほうは、埼玉県にあります「株式会社ホンダカーズ埼玉」。これはホンダのメーカー直ということ。現在の状況は1月上旬に就職も内定し、現在は国家資格である二級自動車整備士資格を取得するために勉強中でございます。今、ミャンマーのクーデターでいろいろ騒がれておりますが、月曜日はインターネットとか連絡が付きなかつたんですが、火曜日にはインターネットも通じまして家族からも連絡がなくて問題ないということですので、私としても一安心をいたしました。それから、卒業見込みも立って残すは資格取得のみで今現在頑張っております。今後のスケジュールとしましては、3月3日水曜日に、今通っていらっしゃる学校の卒業式がございます。また、3月21日には国家試験。受験会場は「ユラックス熱海」だそうです。こちらで国家資格の受験をされるようです。自動車関係の方はもうわかってらっしゃると思うんですが、二級自動車整備士はガソリンとディーゼルの2種類がありましてどちらも受けるそうです。皆様に対するご挨拶もちょっとチョウさんも考えてはおりますが、2月3月はこういうスケジュールになりますので状況を見て会長と相談をしまして、ご挨拶ができる日を決めていきたいというふうに思っております。今は試験に合格できるように、皆様暖かく見守っていただければと思っております。

■委員会報告

○親睦委員会

- ・誕生日
佐藤清作会員
渡部則也会員
齋藤孝弘会員
青木大会員
- ・結婚記念日
山口治会員
鈴木典雄会員

櫻岡敏之委員長



○雑誌広報委員会

村上堅二委員長

皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の村上でございます。よろしくお願いたします。まず横組みの3ページ、「RI会長のメッセージ」ですけれども今月は2月23日がロータリーの創立記念日です。合わせて2月は、平和構築と紛争予防の月間になります。ロータリー自体は高い倫理性を持って奉仕にける情熱、問題解決の独自手法によって116年の間、いろいろな地域に対しての紛争に関してアプローチをあげてきましたということで、是非とも皆様そういう形の考え方を持っていて、そういった紛争とかそういったものに対しては対応していただきたいというふうなお話がありました。それから横組みの8ページ、今回は福井順様という方、長崎記念病院理事長であり長崎南ロータリーの会員でありますけれども、この方が実際その被爆体験を今回ご記入されてま

す。非常に読んで切なくなるような文章が多々出てきます。これは私たちは実際は戦争も経験がありませんし内容もあまり意識しない話題かもしれませんが、この文章を読むと本当にその辛かった時代、平和のためにやっぱり私たちがしなきゃいけないことを教えてくれたような気がしますので、是非これちょっと長いんですけども8ページから13ページまでありますので、内容を精査して読んでいただければなというふうに思います。14ページからは、その平和構築のための活動されてる内容が入っています。そして17ページ、これは「ロータリー研究会」という形で世界大会が今回ズーム会議になったので、オンラインで去年の1月25日にいろいろ開催されてお話をした結果が入っております。19ページまでの内容になってますので、是非お読みください。横組みの21ページ、こちらは「ロータリー・モメント」という形で、今回当2530地区の石黒ガバナーの話が載っております。内容として、米山奨学生の方々といろんな交流を図る中で、自分がやっぱり今までいろんな夢とか持ってたものがだんだん縮んでしまったということ、是非ともこういう機会にもう一度自分の夢を見直して、これからそのための活動をロータリーでしていきたいというふうな話がありましたので是非お読みください。それと23ページ、これは2800地区の山形の齋藤榮助ガバナー、米山中央ロータリーの先生のお話です。以前、スリランカのほうに医療器具をお送りしたというふうな記事が入っております。是非、内容をお読みいただければと思います。それから、今回はアニメのほうでポール・ハリスさんが初めて会長になって行った中で、今ロータリーでソングを歌うという習慣があるんですけども、何のためのソングなのかを今回は説明しております。やはり、その気持ちを柔らかくするようなそういった親睦のためのソングであるということ、内容を理解していただければと思います。みんなで何気なくソングを歌ったことが、こういった裏付けがあった話だったのかなというふうに感じました。それから40ページにあるのは、地区大会の略報ですね。地区大会幾つか、今回はその中でも開催したという地区があって、3地区ありましたのでそのご報告になります。それから45ページ、これはどうなるかわからないんですけども、2021年ロータリーの国際大会が6月12日から15日まで台北で行われるという話になっておりますので、これはちょっとまだ開催がはっきりしてないんですけどもそういったお話がありました。それと少し戻るんですけど43ページになりますね。「エバンストン便り」という形になるんですけども、今回ロータリーとして提唱でないんですけども、新型コロナウイルス予防接種へのロータリーの参加についてという形で今回の記事が出ています。このロータリーに対して、ウイルスに対してのワクチンを打つべきかどうか。これはロータリーとして共通見解として、イエスというふうな形で考えておるといふような話がありました。特に今月は、平和構築と紛争予防月間の中なんですけども、ミャンマーでクーデターがあったりしたんですけど、やはりワクチンに関しては国境なしに、やはり世界平和のために是非ワクチンを差別がないように打ちたいという形の希望があって、そういった文章になってるのかなと思えました。

縦組みの4ページ、ユジノサハリンスクロータリークラブの創立メンバーであります宮西豊様のお話が載っております。ちょっと変わった経歴で、いろんな内容ありますのでここは読んでいただければと思います。それから縦組みの9ページ、井原ロータリークラブの青木茂様のお話が載っております。デニムの町の岡山で暮らされてるという形で、これもこのコロナの中でいろんな商売をやって今生き残っていく道を探索してるというお話が載ってますので、是非ご参考にしていただければと思います。縦組みの20

ページ、「ロータリー・アット・ワーク」というところで、今回は須賀川ぼたんロータリークラブの特集が出ております。よい歯の笑顔写真で街中を明るくするという形で、いろんなイベントができない中こういった形の写真でのコンテストとか、そういったもので是非とも町を明るくしたいというふうな趣旨のもとで開催されました。大成功のうちに終わったというふうに聞いておりますので、よろしくお願いたします。簡単ですが、以上で「ロータリーの友」の説明を終わりにしたいと思います。

■本日のプログラム

会員卓話

○2021-22年度県南分区ガバナー補佐予定者

金田昇会員



皆さん、こんにちは。それとズームで参加の皆さん、こんにちは。先程、会長のほうからちょっとプレッシャーかけられましたけども、なかなか遠藤ガバナー補佐を前にして次年度のガバナー補佐の話をしろという厳しい、なんかお目付け役が来たみたいなので、これからあらゆるご指導よろしくお願いたします。連携ということで、前年度のガバナー補佐との連携をきちんととって、また次年度に繋いでいくというふうなことをきちんとやりなさいということをおっしゃっていますので、これからまた遠藤ガバナー補佐といろいろ県南分区についての情報交換をしながら、次年度に向けての体制を作っていきたいと思っております。本日は例会卓話ということで、ガバナー補佐としてどんな心構えでいるのかということをお話と言われたんですけど、なかなか内容的なものも特別心構えというものもないんですけども、二度ほどガバナー補佐研修会を経験しまして、いろいろ叩きこまれました。基本的なところからもう一度考え直せというようなことだったので、ちょっと資料を作ってみましたので、見ながら話させていただきます。週報のほうにこれ載せさせていただきますので、後日見ていただければというふうに思っています。初めに、まず2021-22年の国際ロータリー第2530地区。2530（ニセンゴヒャクサンジュウ）地区なんです。何回も言われているんですけど、ニイゴサンマル地区という言い方を止めてくださいということですので、皆さん注意していただきたいと思っております。2530地区の志賀ガバナー年度の、県南分区8クラブのガバナー補佐を務めさせていただくことになりました。西ロータリークラブ60有余名の代表として、大変名誉のあることですのでしっかりこれから学びなおして、山口君に習って「ロータリーの友」を3年分もう一度読み直ししながら勉強し直していきたいと思っております。初めにということで、心がけということで、これは私いつも思っていることなんですけど、私が遠くを見渡すことができるのは身長が高くなったわけではなく、多くの先人の肩の上に乗っているだけなのです。未来を担う後輩に残せること。準備しておかなくてはならないこと。ロータリークラブ会員として考えていきたいと思っております。

はじめに

心がけ

私が遠くを見渡すことができるのは身長が高くなったわけではなく多くの先人の肩の上に乗っているだけなのです。未来を担う後輩に残せること。準備しておかなくてはならないこと。ロータリークラブ会員として考えていきたいと思っております。

- 2021～2022年度 国際ロータリー第2530地区 志賀ガバナー年度の県南分区ガバナー補佐を務めさせていただくことになりました。
- 白河西ロータリークラブ60有余名の会員を代表して地区の役員を受けることは大変な事であり、またその重責を全うするためにロータリーを一から学びなおしてご期待に応えるよういたします。

白河西RC会員としての履歴

- 入会: 1996年
- ID NO: 2573000
- 職業分類: 運輸倉庫業
- 幹事: 2000～2001
- 会長: 2010～2011
- 委員長: プログラム・職業奉仕・青少年育成・ロータリー財団etc

おさらい: ロータリークラブとは

ロータリーの誕生と成長

20世紀初頭のシカゴで青年弁士ポール・ハリスと仲間3人で公正な取引と親睦を広めるために1905年2月23日にシカゴロータリークラブを創設。そののち全米各地にまた国境を越えて次々とクラブができ現在220以上の国と地域で36000余のクラブ約12万人の会員数に拡大。これらのクラブの連合体が国際ロータリーです。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、業職ある事業の基礎として専任の理念を奨励し、これを実行することにある。

- 1 知り合いを広めることによって専任の機会とすること
- 2 商業上の高い倫理観を養い、設立した事業は全て善徳あるものと監視し、社会に専任する機会としてロータリアン各自の職業を高尚なものとする。
- 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、専任の理念を実践すること
- 4 専任の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進すること。

2021-22年度RIテーマ
シェカール・メータ会長

専任しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

ガバナーの任務

- ・ガバナーは地区において理事会の一般的な指揮、監督の下に職務を行う者の役員である
- ・ガバナーは地区内のクラブを啓蒙し意欲を与える
- ・ガバナー、元、現在、次期地区リーダーと協力して、地区内における継続性を確保する(ガバナー補佐がクラブ運営に関連した管理業務を遂行することでガバナーが以下の責務に専念する時間が持てるようになる)
- ・会員の入会と参加促進の重要性を強調する
- ・具体的な行事への参加を通じて、クラブと地区の活動やプロジェクトに参加するようロータリアンを奨励する

ガバナー補佐の任務

- ・ガバナーエレクトより任命されるガバナー補佐は担当するクラブのグループ(分区分)が発展するよう意欲を引き出し支援する
 - ・各担当クラブを定期的に訪問し、クラブの活動状況、リソース、機会について話し合う
 - ・目標の設定と達成、課題の解決、対立の解消、地区/部の運営的責務の確保などにおいて、クラブを支援する。
- ・ロータリー財団への参加を奨励し財団の認証プログラムを通じて財団への資金の支援を奨励する
- ・表彰や賞を通じて個々のロータリアンの功績をたたえる
- ・地区の将来を計画する
- ・クラブ・リーダーシッププランを通じて地区のクラブの長期的な発展に取り組む
- ・財団別16,000部に掲げられている任務を遂行する

奉仕の理想=超我的奉仕

奉仕の理念の定義

- ・ロータリーは、基本的に一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に存在する矛盾を和らげようとするものである。
- ・この哲学は、奉仕―「超我的奉仕」の哲学であり、これは「もつともく奉仕するもの最も多く贈られる」という実践的な倫理原則に基づいたものである。(決議23-34第1項)

中核的価値観

あなたが関心なく歩もうとされている道のほとんども、すでにあなたの先輩たちが愛情をもって踏み固めてくれました。

ですから、この道を進み続け、途中でご自身の意思の疎忽を悔くことこそあなたの責任です。私たちは、指導者として歩みますが、だからと言って私たちがリーダーの指導官で、一般の人びとの先頭に立つてバトンを握るわけではありません。そうではなく、私たちは素晴らしいながら、お互いに協力し合い、「時には群衆の中に入り、また周りを歩いたりするのです」

2002-03 会長兼チャイム・ラタケル

コロナ禍の現在

ポリオ撲滅に最も貢献してきたローターだからこそ

- ・今だからできること
- ・今しかできないこと
- ・今しなければならぬこと
- ・ロータリアンだからできること
- ・ロータリアンしかできないこと
- ・ロータリアンだからしなければならぬこと

ご清聴ありがとうございました

コロナ禍で厳しい環境の中で、私たちが何をすべきなのか、どんな奉仕活動ができるのだろうかということをよく考えていきたいと思っています。ちょうど10年前、もうすぐ3月11日で10年になりますけれども、東日本大震災の時にもロータリーのみんが集って肩をたたき合い、またスクラムを組んで乗り切ってきたと思います。このコロナ禍の中でも、苦勞している会員もおりますし、大変な状況の中で生活している方達もいます。また、感染症に罹ってしまうのではないかと恐怖の中に怯えている方達も沢山いると思います。そんな方たちの中で、こんな形でズーム

という形を取ったり、いろんな形でコミュニケーション取りながら皆を支えあい、またロータリーに入って良かったな、ロータリーに入ったからこそこんなこと乗り切れたよというようなロータリー活動をしていきたいと思っています。先程、吉野会長から言われました今年ワクチンが出回ったからといって、このコロナ禍が終息するわけでもありませんし、来年度以降もまだ厳しい経済活動、またロータリー活動も覚悟していかなければならないと思いますが、こうしてネガティブなことではなくて、それを取返して楽しむというくらいの気持ちでしっかり取り組んでいきたいと思っています。いずれにせよ、県南分区分各クラブで沢山のメンバーがいらっしゃいます。心に残るようなガバナー補佐活動ができればいいなと思いますし、それをやってく上では白河西ロータリークラブ会員皆様のご指導、それからご支援、ご協力、またお声がけ、いろいろしていただかないと前に進めない。私一人ではできることではありませんし、県南分区分皆様がコミュニケーションを取って、しっかり仲良く手を繋いで良い地域を作っていくために努力していきたいと思っていますので、まだスタートしていませんが皆様のご協力とご支援を切にお願いしまして、今日の卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

○吉野敬之会長

さっき、金田次年度ガバナー補佐のほうから10年前の話がされたので、ちょっとだけ良い話。10年前に、今でも覚えてます震災の余震が続くここで、ホテルサンルートでおにぎりを持って例会を、まさか今日例会やらないだろうと思ったら、みんなの元気な顔が見たいということで例会をやって、おにぎりですべて食事をして帰ったという例会でございました。帰りがけ私、昇さんとちょっとお話をして「どうだ。」と言われたので、その頃イオンは屋根が落ちてもう一応閉鎖になりまして、1か月2か月はちょっと営業できないよというような形でしたし、今になればちょっと笑い話かもしれないですけども、原発がやっぱり爆発したことで今後の環境を、うちは宝石屋なので宝石買ってるところじゃないだろうということもあって非常に弱気になって、帰り際に昇さんと話した時に「いやあ、もうこの辺で商売なんかできないかもしれないから、もうそうしたら宝石まとめて四国のほうにでも逃げようかなと思ってます。」みたいな話をしたんですね。それ程深い話をした覚えはないんですが、自分としては。ただやっぱり、聞いた昇さんにしてみればすごい気になっていただいて、何日かしたらお忙しい昇ちゃんのところは大変だったと思うんですよ。あれだけの地震で倉庫も崩れたり、いろいろ大変だったと思うんですけど、その時にわざわざ家に来て何の話をするわけでもないんです。ただ、普通に世間話をして帰っていったんです。その時に僕思ったんですね。きっと、昇さんは私が弱気になってた気持ちを察してわざわざ見に来てくれてたんだなと。本当に優しい方だな。みんなが思ってるよりも結構優しい人ですよ。余計な話でした。以上で、本日の例会終了いたします。